

1	事業名称	信州高遠 星座観察会			
2	新規・継続	継続	5年目		
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家の各種望遠鏡を使って、高地特有のきれいな星空を観察してもらい、宇宙や山の自然への興味関心を高める。			
4	期日・期間	第1回（以下①）：平成28年11月5日（土）～6日（日） 第2回（以下②）：平成28年11月19日（土）～20日（日） 第3回（以下③）：平成28年12月23日（金）～24日（土） 第4回（以下④）：平成29年1月21日（土）～22日（日） 第5回（以下⑤）：平成28年2月11日（土）～12日（日）			
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	150人（各回30人）			
7	後援	長野県教育委員会、山梨県教育委員会、愛知県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会			
8	参加者人数	228人（①35人、②44人、③59人、④68人、⑤22人）			
9	参加者類型		男	女	計
		小学生未満	11	10	21
		小学生	57	44	101
		中学生	2	1	3
		高校生	1	2	3
		大学生	0	1	1
		大人	44	55	99
10	参加者地域	長野県（93%）、東京都（4%）、愛知県（1%）、埼玉県（1%）			
11	参加者分析	アンケート結果から、全体の65%が当所事業に初参加で、全体の77%が配布チラシを見て申し込んでいる。また、チラシは長野県内の中信～南信地域に配布しているが、配布数の地域別割合と、それら地域からの参加組数の割合もほぼ比例しており、参加募集の広報としてチラシ配布が効果的であることが分かる。 参加動機としては「内容に興味がある」が全体の76%で、「星空観察」に対しての需要が多いことが伺える。			
12	アンケート満足度	満足 80%	やや満足 20%	やや不満 0%	不満 0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・望遠鏡で月や星を見て感激した。時間も余裕があり、他の家族との交流もできてよかった。 ・自然の家の素晴らしさを知ることができました。子供はテレビが無いことにショックを受けていましたが、無くてもすごせました。早起きして寒い外でのラジオ体操はとても気持ちよかったです。 ・プラネタリウムや写真などで見ることはあるが、実際の体験に勝るものはないと感じました。 ・今までも星の観察会に他の場所で行ったりした事もありましたが、今日が一番感動しました。星を見た時の「すごい！」という感動した気持ち、子供達が望遠鏡を覗いて星が見えた瞬間の「うわあー！」という声忘れません。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・満点の星空の下での野外観察はもちろん、最新のプラネタリウム鑑賞や、ユーモアを交えた講師の解説により、天候不良で満足に野外観察ができない回でも不満をもつ参加者はおらず、星座や宇宙への興味関心を高めるきっかけ作りができた。 ・日程終了後にも、自然の家の活動プログラムを体験していく家族がおり、またアンケート記述からも、他家族との交流や共同生活体験を評価する声が多く、自然の家への興味と理解を深める機会とすることができた。 ・開始30分前に講師と改めて綿密な打合せを行うことで、職員も含めて当日の天候状況等に対し柔軟な対応が可能となり、参加者の満足度向上に繋がった。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の満足度や印象は、天候に大きく左右されているため、天候不良時でも、参加者が不満に感じないような屋内（雨天）プログラムを引き続き検討していく必要がある。 ・入浴や食事が少し慌ただしいと感じる参加者もいた。星空観察の性質上、各プログラムの時間をこれ以上増やすことは難しいが、できるだけ無駄な移動を無くし、慌ただしいという印象を持たれないように、参加者の動線を考えた事前アナウンスを検討する。 ・当事業は間隔を空けて複数回実施するため、複数回分をまとめて募集する現在の申込受付方法では、後半の回になると、申込からの期間が空きすぎてしまう。それによって、後半の回では、学校行事や家庭の都合等の予定が入ってしまったり、失念して別の予定を入れたりすることによるキャンセルが発生しやすい。申込受付方法や、参加者への通知方法に改善の余地がある。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・講師との綿密な打合せを直前に行うことや、チラシへ「推奨年齢」を記載し幼児に配慮すること、チラシ配布先から広報効果の薄い中学校を除くこと等、前年度の反省を大いに生かし、前年度を大きく超える満足度を得ることができた。 ・受付時間どおりに到着しない家族が一定数おり、そういった家族へはガイダンスを徹底できないため、施設使用方法の理解不足等により共同生活部分で他家族へ迷惑をかけてしまうことも生じている。より余裕をもったガイダンス、荷物移動等のために、受付開始時間を30～1時間程度早めることも検討する価値がある。 <p style="text-align: right;">（担当：林 健介）</p>			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当
1日目(土)		
17:30~18:00	開会式、ガイダンス	自然の家職員
18:00~19:00	夕食	
19:00~20:30	星座観察会	
	①観察会でのやくそく ②講師紹介	自然の家職員
20:30~21:30	③プラネタリウムで季節の星座の解説 屋外で望遠鏡による観測 300mm反射式望遠鏡による天体観測 (曇天時：望遠鏡解説、宇宙の話など)	講師
	入浴	
2日目(日)		
7:00~7:20	朝のつどい	自然の家職員
7:20~8:20	朝食	
8:20~9:00	清掃・荷物整理	
9:00~9:20	閉会式、アンケート記入、解散 (解散後、希望者は自然の家の活動プログラムを体験)	自然の家職員



大人も子供も大興奮の大迫力！
300mm反射式望遠鏡で天体を観察



屋外では満点の星空の下、望遠鏡で月のクレーターを見たり、肉眼で季節の星座や流れ星を探したり…



屋内でも、プラネタリウム鑑賞や望遠鏡の解説等、充実のプログラム